



たてやま

議会だより



町のボランティアグループ紹介

「立山町赤十字奉仕団活動」

主に毎年各学校(持ち回り)に ボランティア活動への参加を呼びかけ、団員・生徒・児童と共に町のイベント特産まつり(今年はたてやま収穫祭)の会場で非常時の炊き出し体験実施や知的障害者施設での交流、県下統一のNHK 海外たすけあい募金活動、75歳以上ひとり暮らし高齢者友愛訪問(春・歳末)を行っています。

平成24年
12月定例会

一般会計補正予算	2P
一般質問	3P
議会視察研修報告	9P
委員会の審議	10P

No. 46

2013.2.1

発行/立山町議会
責任者/議長坂井立朗
編集/広報特別委員会

五百石保育所の移転先が決定 旧えんじマート跡地

補正予算 3億4,166万円を計上

一般会計予算総額 115億7,613万円に

保育所建設事業

8,410万円

老朽化している五百石保育所の移転先の土地購入として補正された。取得面積は約3,900㎡で、今年度は3,000㎡、来年度に900㎡を購入予定である。

平成26年度着工、平成27年度供用開始の予定である。

商工振興対策事業

1億3,950万円

利田地内において町が造成中の企業団地を、前田薬品工業に売却する費用である。

再生可能エネルギー導入事業 3,100万円

元気交流ステーションの屋上に太陽光パネルを設置する。

平成24年12月定例会は、12月5日から18日までの14日間にわたって開かれた。平成24年度補正予算や条例、契約案件など14件の議案について審議し、すべて可決した。また、議員提出議案は、5件提出され、すべて可決した。

請願・陳情結果

採択

全員賛成

地方自治体の重度障害者(児)医療費助成制度及び自立支援医療費の改善を求める国への意見書採択に関する陳情書

請願・陳情者

(社)富山県身体障害者福祉協会

会長 岡本武勇

他 五団体

〔採択理由〕重度障害者は苦しい生活を強いられ、おり、助成制度を改善し、十分な支援をする必要がある。

継続審査

垂直離着陸輸送機オスプレイの配備、低空飛行訓練撤回の意見書採択を求める請願書

請願・陳情者

2012年日本平和大会

富山県実行委員会

代表 増川利博



伊東幸一議員 一般質問

TPP

農業を壊滅させるTPPの町への影響は

極めて大きな影響がある 全国町村長大会で反対を決議

議員 TPP交渉が目指す例外なき関税撤廃は、我が国農業を壊滅に導く。町長はこれまで懸念を表明されているが、再度、町への影響をどう考えているのか問う。

町長 米作り中心の本町農業に極めて大きな影響が生じると認識している。だから、農業の競争力を高めるための支援の強化や、農業者の所得を確保する対策を講じる要請を国に

行い、併せて、全国町村長大会においても大会決議として採択した。また、農業委員長も幾度となく、県選出の国会議員に対して参加反対の要請をしている。

福祉

福祉サービスの基本理念と目標は

高齢者にとって安全・安心な支援体制づくり

議員 高齢者が健康でいきいきと安心して地域で生活できるように、地域住民が互いに支えあう仕組みづくり、福祉サービスの更なる充実を図ることが重要課題であると考えているが、基本理念と目標を問う。

健康福祉課長 基本理念として、「高齢者が住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らせる社会づくり」を掲げて



いる。

目標として「元気で活動できる健康と生きがいづくり」「住み慣れた地域で生活できる環境づくり」「安心して暮らせる支えあいの地域づくり」の3つを掲げ、生涯を通じた健康づくりの推進、生活支援サービスの充実、高齢者の安全・安心な支援体制づくり等の事業を実施する。

雪

高齢者への除雪支援は

助成回数を引き上げ

議員 高齢者などの除雪弱者への支援について問う。

健康福祉課長 ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯に対し、屋根雪おろしに要した経費の一部を助成している。昨年度は助成回数を例年より1回増やし、3回に引き上げた。49世帯に対し、延べ64回の助成を行った。今年度も降雪状況により、助成回数の引き上げを考えている。

その他の質問

- 学校、保育所等災害時の危機管理マニュアルの見直しを
- 町高齢者福祉計画策定の背景・位置づけと方針は
- 高齢者世帯・住宅の状況、要支援・要介護・要介護認定者の状況は
- 高齢者が自分らしく安心して暮らせるよう、具体的な取り組みは
- 歩行型除雪機等の使用状況は
- 特定鳥獣保護管理計画を策定し、「捕獲」等対策を（カモシカ）鳥獣被害防止対策は



元気交流ステーション内の健康福祉課

米田俊信議員 一般質問



地域

町中心部の活性化のため 道路網の整備を

今後の道路計画は 県や関係機関と連携

議員 立山・上市横断道路が開通すれば、富山立山公園線の交通量はますます増加する。町中心部の活性化のためにも、大日橋側道路と骨太に繋ぐ道路網の整備を進めてはどうか。

町長 長期間未着手となっている路線を含め、町中心部における都市計画道路網の見直しを進めている。

町中心部から富立大橋など県道富山立山公園線へ通じるルートは、富山市に至る重要なアクセス道路のひとつと考えている。

今後の道路計画にあたり、その重要性を踏まえ、県や関係機関とも連携し、調整を図りながら、町の発展に資する道路網を整備したい。



町道 前沢中央線

河川改修

八幡川の 改修整備促進について

治水安全度の向上を図る

議員 八幡川の改修整備促進について、改修整備（支弁川）が少しでも早く進むように取り組むべきではないか。

建設課長 設計について、当初の石積護岸工法では事業完了までの期間が長期にわたるため、早く効果が発揮できるように護岸の勾配を緩くし、工場製品を活用したブロックマット工法への変更を行った。ところが、新たな用地が必要になり、地元

の理解を得て、その用地取得を順次行っている。また、護岸工事にも一部着手したいと考えており、治水安全度の向上を図るため、鋭意その整備に取り組んでいく。

通学路

通学路の 歩道整備を

整備を図るため 国へ要望

議員 歩道の整備について、金屋信号機より利田公民館横まで（約200m）は道路幅が狭く、雨天時において大型車が通行する際は大変危険である。歩道整備に早く取り組むべきではないか。

建設課長 通学路である町道下利田大石原線の押しボタン信号機がある利田金屋東交差点から利田公民館までの

- その他の質問
- ・新政権に期待するところは
 - ・地域や国を愛する心の教育は
 - ・観光振興、地域振興は
 - ・農産物の生産振興は
- 立山ブランドの今後の取り組みは



利田金屋東交差点

道路幅は5mと狭く、歩道の必要性が高い区間と考えており、整備を図るため国へ交付金の要望を行った。痛ましい事故が他県で相次いだことを受け、町として通学路の緊急点検を実施し、事業着手に向け関係機関との調整を進めたい。



高嶋清光議員 一般質問

町政

舟橋町政7年間の 運営を問う

企業誘致や地域活性化に向けた 町づくりを進める

議員 立山インターから立山公園線東西に生活基盤の変化が生じ、地域間格差が広がった。里山の生活に不安と不便が重なり、高齢者の多い地域ができたが、対策を考えたか。

町長 少子高齢化・核家族化で、若年層の地域離れと、集落機能の低下を心配している。町は、身近な就労確保のため企業誘致に取り組んでいる。立山ブ



立山ブランドの認定品

ランドや地域おこし協力隊などにより、地域の活性化と協働の町づくりを進めてきた。

議員 上市町はバランスの取れた若者住居を配置している。立山町は、片寄り行政運営でなかったか。

町長 地域医療の確保や町営バス運行、地域おこし協力隊、集落支援員の配置などに取り組んでいる。上市町の公営住宅は、役場から近い場所で、利便性の良い地域である。町の過疎化対策で公営住宅整備は効果的でない。

環境

ゴミ屋敷・空き家対策に関する 条例制定を

条例の見直しを含め検討

議員 ゴミ屋敷は数年前から問題であり、周りに迷惑をかけている。強制撤去・命令、ゴミ屋敷禁止条例の制定が必要と思うが、町の対応は。

町長 完全撤去に向け指導を継続していく。強制的な対応や禁止条例の制定は、立山町環境美化の推進に関する条例の見直しを含め検



放置されている空き家

討したい。



議員 高齢化に伴い、適正に管理されない空き家が多くなる。近隣住民の安全面から、町が一定の役割を果たす必要があると思うが、町の対応は。

町長 空き家調査を進めており、危険な建物に対しては、県

からの措置命令や関係規制措置との連携、立山町環境美化の推進に関する条例の見直しなどを検討したい。

その他の質問

・パークゴルフ場の増設は

・舟橋町政七年間の運営について

・教育費に多額のお金を使ったがその成果は

・小学校一校、保育所一ヶ所が休校、廃所になったが、手当てできなかったか

・新瀬戸保育所が休所になるが、何とかしなければと考えたことがあるか

・立山町のどこに住んでも幸せで、その土地に生まれて良かったと思う町民が少ないのでは

・何年後、何十年後に集落がなくなりお宮しか残らない。今からの対応が必要ではないか

・(株)たてやまの十月末の経常利益は

町田信子議員 一般質問



物産展

立山町の特産品 首都圏での販売とPR効果は

効果は確実に出てくるものと確信

議員 東京で行われた立山町ゆかりの特産品を集めた「ぜんぶ、立山。」物産展の成果と、今後の展開は。

町長 今回の物産展は、首都圏での立山町の認知度の向上にもつながったものと思っている。

物産展終了後、(株)たてやまに商品購入の問い合わせがあったと聞いている。

今回、初めての開催ではあったが、その効果は徐々に確実に出てくるものと確信している。



「ぜんぶ、立山。」物産展(東京都内)

景観美化

称名滝がよく見えるように 早急な対策を

自然環境と観光客に配慮しながら 対応を協議



「遠望園地」から望む称名滝

議員 「称名滝道路の見晴らし台から見る滝は、大きな木があり見にくい」との声がある。景観美化の観点からも早急な対策が必要ではないか。

町長 称名平駐車場付近には、称名滝の雄姿を遠くに望むことのできる

環境保全

倒壊寸前の空き家は 早急に手を打つべき

解体に向けて 所有者との間で調整中

議員 五百石商店街に倒壊寸前の空き家が見られる。雪が降れば危ないので、町の対応は。

副町長 町として所有者に対し、早急な対応をお願いしていたが、現在、建物の解体に向けて、空き家の所有者と隣接する家屋の所有者との間で調整が行われている。引き続き、地元の区長も交えながら調整を進めていきたいと考えている。

その他の質問

- ・イメーჯキヤラクターの制定と方向付けは
- ・五百石商店街の空き家の件数は
- ・リース方式による公共施設にLED照明の導入の考えは
- ・レアメタル等の回収とリサイクルの今後の取り組みは



亀山 彰議員 一般質問

観光

ジオパーク(自然公園) 認定に向けて働きかけを

近隣市町村の意向を確認

町長 ラムサール条約と同様に、立山一帯の魅力を多くの人が共有する可能性を有しているものと認識している。近隣市町村の意向なども確認していきたい。

議員 立山には、科学的に重要で貴重な地質遺産が豊富にある。立山が、ジオパーク(自然公園)に認定されるよう、前向きに取り組むべきでは。

がれき

がれき処理に関して は 徹底した情報公開を

情報公開に努め平等な対応をする

議員 多くの場での説明や議論を経て、試験焼却することになった。町民に対する情報公開の徹底と安全確保を、改めて町当局に求める。

公害防止協定書の申し入れのあるなしに拘らず、全ての地区へ平等な対応を。

企画政策課長 12月16



岩手県から搬送されたがれき

通学路

通学路の安全確保を 歩行者用信号機を設置



歩行者用信号機が待たれる宮路交差点

日に実施される試験焼却について、見学希望者を募って公開する。試験焼却の結果については報告会を開催し、情報の公開に努める。覚書のあるなしにかかわらず、平等の対応をしていく。

議員 立山小学校の通学路である宮路交差点に、歩行者用信号機の設置を。

住民課長 上市警察署とともに通学路の一斉

点検を行った。宮路交差点は、立山小学校下の通学路点検時にも歩行者用信号機の設置が望まれていた。本年度中に設置の予定である。

ヒルクライム

立山アルペンヒルクライム2013の実施 町民にアピールを

「美女平天空ロード」新しい魅力の創出

議員 「立山アルペンヒルクライム2013」開催に向けて、スケジュールなどの公表を。

町長 平成25年6月23日に「美女平天空ロード」において、200名規模の大会を開催する。この大会が、山岳観光とサイクルスポー

ツを融合させた立山黒部アルペンルートの新しい魅力を創出し、立山の雄大な景観の更なる発信に貢献することを願っている。

後藤智文議員 一般質問



環境美化

国の重要文化財である 岩嶺雄山神社のトイレ水洗化を

下水道設置ができたので 来年度改築したい

議員 岩嶺雄山神社の東西のトイレは、約30年前に町が設置したもののだが、依然くみ取り式である。これまで改築は「下水道ができれば」との答弁だったが、その待望の下水道が設置された。今こそ、地元の人との約束を果たすべきではないか。

町長 岩嶺雄山神社の2ヶ所のトイレは老朽化が進み、観光客やウォーキングを楽しむ方々にご不便をかけて

いる。
岩嶺地区の公共下水道工事が施行されたので、これに合わせてトイレの改築をしたい。



改築が待たれる岩嶺雄山神社のトイレ

学習環境

小学校の学習環境向上のために 普通教室にエアコンの設置を

来年度の設置に向け 国に予算要求をしている

議員 今年の6月議会で教育長は「各小学校の普通教室の空調設備は、平成25年度以降に設置することを検討している」と答弁した。町長の目標でもある教育環境の整備にぜひ力をそぐべきではないか。

教育長 一日の大半を学校で過ごす児童にとつて、教育環境や学力向上のためにも、より良い学習環境の中で授業を受けさせたい。来年度の空調設備の設置に向け、国に予算要求をしている。

福祉向上

街中の銭湯は 福祉の観点から存続の手立てを

「入浴助成券」を発行し 福祉の観点で「銭湯」を活用

議員 老人センターにあった銭湯がなくなっている。あるお年寄りから「八幡湯は私たちが助けてくれているので、ずっと残してほしい」と訴えられた。街中の銭湯をいかに生かしていくのか。

町長 老人センターの浴場閉鎖にあわせ、本年5月から「高齢者お

出かけ入浴助成」として、65歳以上の町民に立山町社会福祉協議会の窓口で、銭湯料金400円のところ200円で利用できる助成券を、1カ月4枚まで出している。福祉の観点で「銭湯」の活用を図っている。

その他の質問

- 町長の所信表明について
- 元氣交流ステーションの完成を受けて、半年後の自己評価はアンケート調査結果と改善点は
- 4つの目標の進み具合は
- 新年度予算について
- 就学援助項目の拡充を
- 尖山に仮設トイレを
- 生活関連の道路改修予算の増額を
- 「人・農地プラン」とTPPについて
- 到達点と進捗状況は
- TPPとの関連性は
- 修学旅行生誘致について
- 受け入れの利点は
- 農家の確保の見通しは
- わずかな時間での教育効果は
- 実現性の見直しは
- 道路の拡幅と延長について
- 県道立山公園線の横江地区の拡幅を
- 総合公園へのアクセ
- ス道路の延長を

総務教育常任委員会

市民と協働によるまちづくり

山口県萩市

10月に山口県萩市で「萩まちじゅう博物館」の取り組みについて、視察研修を行った。



萩博物館で意見交換

萩市は山口県の北部に位置しており、吉田松陰や高杉晋作などの人材を輩出した「明治維新胎動の地」となった所である。「まちじゅう博物館」は、萩博物館と市民が協働しながら、萩の歴史や貴重な文化遺産の再発見を進める

中で、まちじゅうに輝きを取り戻す体制を整備し、町全体を博物館ととらえる「観光地づくり」「まちづくり」の取り組みである。「NPO萩まちじゅう博物館」が市と市民の有志で設立され、萩博物館の受付やガイドなどに携わっている。

ものしり博士検定や江戸時代の通りの名称を復活する取り組みなど、様々な事業を展開しながらまちづくりを推進している。

今回の視察で、立山町も、町民と協働しながら、元氣交流ステーションを中心とした「まちづくり」を推し進め、魅力あるものにする必要があると感じた。

参加者

- 委員長 亀山 彰
- 副委員長 町田信子
- 委員 伊東幸一
- 委員 坂井立朗
- 委員 窪田一誠

産業厚生常任委員会

障害者・弱者にやさしい町づくり

9月に香川県高松市と高知県四万十市で、行政視察を行った。

香川県高松市
高知県四万十市

高松市では、社会福祉法人竜雲学園を訪問した。

障害者の就労支援施設として「本格手打ちうどん竜雲」「花と陶芸の店フロレリア」の2店舗を経営し、接客や販売などを通し、障害者が地域で自立して、生活できることを

目指している。就労者の平均給与は、月約8万円になり、年金と合わせれば自立している金額である。

事業が成功する背景について「町自体が障害者・弱者にやさしい町になっていく」という施設長の言葉が印象に残っている。立山町もそうあってほしいという思いを強くした。四万十市では、自然観光地の地域活用について、屋形船を運営する四万十川観光開発株式会社を視察した。昭和39年、観光協会によって運航が始まり、昭和49年に民間に引き継がれた。



竜雲学園で意見交換

日本最後の清流とい

われる四万十川の観光を、足摺温泉郷とタイアップして盛り上げている。四万十川流域の観光客は年間150万人で、乗船客数は、当初数千人だったが、現在は18万人の利用がある。素朴な船頭さんの話に感心し、柴漬漁などいろんな漁が身近に見られ感動した。

町の観光地でも、こうした体験ができる所を増やす必要があると思った。

参加者

- 委員長 佐藤康弘
- 副委員長 後藤智文
- 委員 桑原米蔵
- 委員 村田 昭
- 委員 米田俊信
- 委員 高嶋清光

総務教育・産業厚生常任委員会

地獄谷火山避難マニュアルを作成

五百石保育所の運動場は前沢中央公園内に

総務課

Q 地獄谷火山避難マニュアル作成委託料について、どのような計画を考えているのか。また、マニュアルの配布先は。

A 地獄谷の火山ガスを噴出が活発になっており、気象条件等にもよるが、地獄谷周辺に近づけないこともある。登山者の安全確保のために環境省や気象庁、山小屋関係者の方などと協議しながら、避難ルートや迂回ルートも含めたものを考えている。

配布先については、今後関係機関と協議していく。

企画政策課

Q ふるさと納税の謝礼は妥当なのか。また、ふるさと納税は基金に積んでいるが、謝礼は一般会計から支出しているのはなぜか。

A 謝礼は納税額10,000円以上の方に、一律5,000円相当の町の特産品をお礼に渡している。基金に積んだふるさと納税は、翌年度に一般会計へ繰り入れ、納税者の希望用途を考慮し、町の各種事業の財源に活用している。

健康福祉課

Q 五百石保育所の用地取得予算が計上されている。運動場の確保や、公園を使うことによる防犯や交通安全対策は。

A 運動場は前沢中央公園内を屋外遊戯場として有効活用し、運動広場を使う。交通安全や防犯対策は、保護者や地域の方々と連携して取り組む。

商工観光課

Q 観光対策事業に旅費が計上されているが、その内容はどうか。

A 東京有楽町での物産展参加の旅費である。立山ブランドを中心にした町特産品の宣伝・販売、及び広域的な立山観光のPRにつながった。

建設課

Q 今年度に予定されていた総合公園の下水道整備事業は、なぜ本年度に繰り越したのか。

A 下水道整備工事は、社会資本整備総合交付金事業で計画しているが、同じ事業で行う五百石保育所の用地購入を優先するためである。

住民課

Q 元気交流ステーションの屋上に設置する太陽光パネルの発電能力はどれくらいか。

A 太陽光パネルの発電量は約1,700キロワットであり、施設全体の約3%の電力を補う。



太陽光パネル設置予定の元気交流ステーション

あ と が き

「春の赤ちゃん」がところどころでみられる時季に「たてやま議会だより46号」をお届けすることを嬉しく思います。

議会広報委員会は、議会終了後から5回にわたって開催します。

「読む人の立場に立ってわかりやすい紙面を」といつも心掛けていますが、なかなかうまくいかないときもあります。言葉の一つひとつが専門用語であつたりすると、「この言葉は難しい、わかりにくいのでは」とあれこれ吟味して、率直な意見を交わし合いながら作っています。

この議会だよりが届いたときはぜひ一読して、批判や辛口の意見もお寄せください。議員一同待っています。まだまだ寒い日が続きますので、お体をご自愛してお過ごしください。

議会広報特別委員会

- 委員長 伊東幸一
- 副委員長 亀山 彰
- 委員 佐藤康弘
- 〃 石川孝一
- 〃 後藤智文
- 〃 町田信子

議会や議会だよりについてのみなさんのご意見・ご感想は
立山町議会内
議会だより係
TEL 462-9984(直通)
TEL 463-1121(代)
FAX 464-1118

立山町議会事務局
〒930-0292 富山県中新川郡立山町前沢2440
ホームページ <http://www.town.tateyama.toyama.jp/> 【議会会議録】もご覧ください。